



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

日高山脈博物館は「ジオ・ミュージアム」

道内唯一の地質と岩石の登録博物館！

通算

第65号 2020.12.

道内学芸員の中では少数！地質と岩石が専門の日高山脈博物館学芸員の主な活動報告

ネイチャーセミナーなどが中止となりましたが、学芸員は常にさまざまな活動をしています。

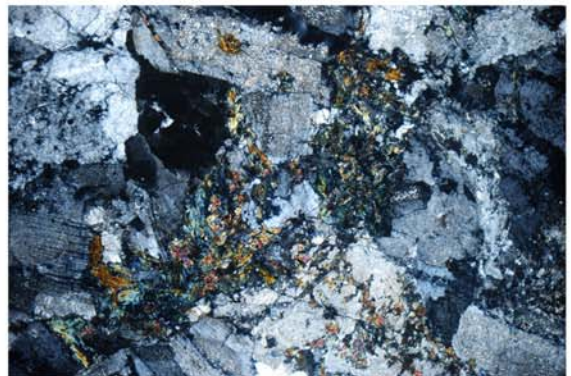
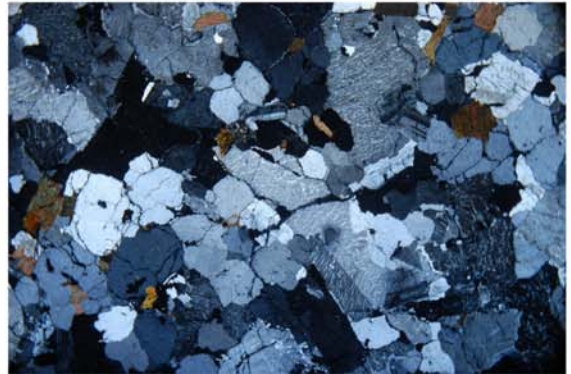
学芸員は、主に事業開催をしているイメージがあると思いますが、事業が中止となっても、博物館の専門職員として、常にさまざまな活動をしています。

今年度は、主に、地質学的・岩石学的な調査の依頼を受けました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、野外授業などの依頼も少なく、野外巡検の講師を承諾する場合も、お互いに新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じた上での承諾・実施となりました。

地質学的・岩石学的な調査依頼は、6月に「麦飯石」についての岩石学的調査の依頼を受けました。先方が「麦飯石」として展示している試料の一部を、当館に送付していただき、当館の設備でできる範囲の岩石学的な調査を実施し、調査の報告をまとめました。他にも、シーソラプチ川の河原の石やその流域で見られる風景の中の岩石について、岩石学的調査の依頼も受けており、こちらは現在、調査を進行中です。

野外巡検では、9月末に、山形大学理学部の北海道巡検にて、日高の地質にかかる部分で、講師を依頼され、博物館の見学や野外地質巡検の案内、学術的な議論などを行ないました。

今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、積極的な博物館活動を行なっていきたいと考えています。



調査依頼を受けた「麦飯石」から、学芸員が作成した岩石薄片の写真です。上下の写真は、別々の「麦飯石」です。薄片写真から、これら両方とも、花崗岩質深成岩（カリ長石が比較的多いので、花崗岩）だと思います。上の岩石は、風化や変質もないものですが、下の岩石は、変質が進んでいて、色鮮やかで細かい別の鉱物ができています。写真の横幅は両方とも約6cmです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業

ここまで17年連続17回の開催をしてきました「石・鉱物・化石のお宝鑑定会」につきましては、開催を予定していた時期における、新型コロナウイルス感染症の一層の拡大と、その拡大防止のため、今年は中止としました。何とぞご了承のほどよろしくお願いいたします。

日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。



2年生見学旅行

『一人ひとりが主役になれる学校』

10月28日(水)～10月31日(土)、2年生20名が3泊4日の見学旅行に行ってきました。今年度の行程は岡山・宮島・広島でした。4日間天候に恵まれ、計画した行程どおり順調に進みました。

1日目は新千歳空港から羽田空港、そして岡山空港に行きました。移動が長かったので少し疲れが見えましたが、夕食にしゃぶしゃぶやご当地グルメの祭り寿司を食べ、ホテルで少しのんびり過ごしました。2日目は、岡山後楽園を散策し、大原美術館で絵画や美術品を鑑賞し、倉敷美観地区で伝統的建造物を眺めながら見聞を広めてきました。3日目の宮島では、厳島神社で学業を祈願し、現在補修中の大鳥居を眺め、世界遺産でもある、弥山の頂上まで登りました。山の途中では縁結びの神様に祈りを捧げている生徒もいました。4日目は広島に行き、平和記念公園で原爆ドームを見て、鶴の奉納や広島平和記念資料館で原爆や戦争の恐ろしさを知り、平和について考えました。

見学旅行をとおして、自主性や協調性を育み、普段の授業では学べない貴重な体験もでき、大変充実した4日間となりました。

